

平成 24 年度事業報告

自 平成 24 年 04 月 01 日
至 平成 25 年 03 月 31 日

経済環境と協会活動概況：

平成 24 年の総広告費は、電通調べによれば、復興需要などによる平成 23 年後半からの回復傾向を受けて前半は好調だった。後半は、減少傾向となったが、通年での総広告費は、5 兆 8,913 億円、前年比 103.2% と、5 年ぶりに増加した。

一方、プロモーション費は 2 兆 1,424 億円で、同じく 5 年ぶりに前年を上回り前年比 101.4% であった。内訳を見ると、前年の震災による出稿自粛の反動増もあり、「屋外広告」(前年比 103.8%)、「交通広告」(同 103.9%)、「折込広告」(同 102.1%)、「DM」(同 101.3%)、「POP」(同 100.5%)、「展示・映像他」(同 108.3%) がプラスに転じた。

平成 24 年は徐々に回復に向かったものの、大幅な回復には至らなかった。

しかし、以上の経済環境下にあっても、当協会は、会員社の絶大なご協力、そして第一次堀理事会の多大なご尽力で、極めて順調に活動することが出来た。今期の成果として、以下の報告が出来ることは、言葉に表しがたい大きな感謝に堪えない。

- ① 「会員増強プロジェクト（栗原委員長／清水常任理事・清水副理事長）」は、理事会を中心とした昨年度の活動成果である 24 社に加え、今期は、会員各社のご努力で、新たに 24 社が加わり、当プロジェクトの成果として、総計 48 社の新たな会員を得た。
- ② 「プロモショナル・マーケター認証資格制度（富田委員長／齊藤常任理事・安藤副理事長）」は、第 8 期までの累積受験数が 6,401 人となり、有資格者数は 3,864 人に至った。広告主系の受験が 22% を占め、非協会会員社の受験派遣比率も 65% となり、業界全体の資格へと裾野が広がっている。
- ③ SP 業界全体のビジネス・スキルの向上を目的に設立された、東京都公認の職業能力開発校「JPM ビジネスクール」を始めとする「教育事業（堀井委員長／齊藤常任理事・清水副理事長）」は、当期、受講促進活動を積極的且つ体系的に展開し、参加延べ数 202 人（目標 187 人）の成果を得た。
- ④ 「グッドウイル・プロモーション・アライアンス推進委員会（田中委員長／窪田常任理事・新井副理事長）」は、平成 23 年の大震災直後に、これからプロモーションのあり方を求める準備委員会が組織され、同年 9 月の理事会（112 回）で設置が承認された。今期も、毎月、欠くことなく委員会が開催され、①プロモーションの効果性、②プロモーションの遵法性、③プロモーションの社会性、の 3 つを基軸とした「プロモーション憲章（案）」、またそれに基づく「プロモーションの考查基準（案）」、「GPA 事務局主査制度（案）」、さらに「GPA 賞設置（案）」を策定し、着実に歩み固めている。
- ⑤ 前期より、季刊誌であった協会誌を「JPMnetwork（小林委員長／吉村常任理事・安藤副理事長）」と改めて毎月発行とし、また同じく「JPM マネジメント定例会（栗原委員長／斎藤常任理事・清水副理事長）」も発足し、当期は延べ参加者数 343 人（前年 329 人）とする等、会員間の交流機会を大きく広げた。
- ⑥ 「協会展（久保田委員長／吉村常任理事・新井副理事長）」は、依然、収益面での課題は抱えつつも、当期は近年にない多くの作品出展（802 点／前年 742 点、目標 750 点）が得られ、購買時点での問題解決力に優れた多くの創造性と企画力を顕彰することが出来た。
- ⑦ プロモーション・ビジネス研究委員会（北川委員長／窪田常任理事・新井副理事長）が実施の第 10 回 JPM プランニング賞受賞企画の中から、プロモーション企画の世界コンテスト GLOBES Awards ～11 点を選出し 6 部門で入賞を果たした。同じく、国際企画コンテストである「International Marketing Excellence Award 2012」～2 点を選出し 1 点が最高の金賞を獲得する等、日本のプロモーション企画力を、世界にアピールした。

以上、当平成 24 年度（第一次堀理事会）は、経済環境こそ厳しいものであったが、「プロモショナル・マーケティング」の浸透という明確なビジョンのもとに、大きく協会活動を進展させることができた。

今年もまた、新たな希望と期待のうちに新年度を迎える幸運は、ご同慶の至りである。

平成 24 年度の各委員会の活動は、下記の通り実施された。

総務委員会 (委員長 宮瀬 健／清水副理事長)

1) 通常総会の開催

第43回通常総会 平成24年5月21日(月)

出席者 会員代表者 120名(委任状出席者74名含む)

会場 東京会館「ロイヤルルーム」

記念講演 戸田 裕一 氏(株式会社 博報堂 代表取締役社長)

(テーマ) 「広告会社にとって“プロモーション事業”とは」

2) 財務管理

会計監査の実施

平成23年度の会計監査を平成24年4月9日(月)に実施

監査は大久保公認会計士、立ち会いは横山監事、堀内監事、樋原常任理事、坂井田専務理事。

3) 会員名簿の発行

会員名簿を平成24年7月に発行し、会員に限定し配布した。

会員の入退会 (平成24年12月末見通し)					
	24年度期首	入会	退会	24年度期末現在数	
正会員A	194	14	Cから1	4	205
正会員B	11			1	10
正会員C	5			3	0
海外会員	12	1			13
賛助会員	1		Cから1		2
合 計	223	15		8	230

4) JPM新年会

昨年に引き続きJPM新年会を開催。

日時 平成25年1月21日(月) 18:30～20:30

場所 日本印刷会館 2F会議室

参加者 53社 119名 他に招待16名(プレス含む)

※平成23年度の新入会員24社のうち9社が参加した。

国際委員会 (委員長 澤田 利憲／草賀常任理事・安藤副理事長)

1) JPM GLOBALSHOP 2012 視察ツアー

米国ラスベガスで開催の「GLOBALSHOP 2012(2月29日～3月2日)」の見学およびサンフランシスコ、ラスベガスでの

店舗視察ツアー(3月26日(日)～3月3日(土)までの7日間)に参加。

9社から15名が参加。

会員増強・会員交流委員会（委員長 栗原 敦／清水常任理事・清水副理事長）

1) 「会員増強活動」について

- ① 会員社による紹介をもとに行なった新会員入会促進活動 <5月21日～9月12日／9月18日～11月30日>
全会員社に、前後各期、「紹介したい企業」シートを送付。FAXにて返送願い。9月下旬、協会活動に関心をもって出席するなどの企業47社に、重ねて送付。その結果、24社が入会。

入会申込企業	紹介会社	備考
(株)電通オンデマンドグラフィック	(株)電通テック	4月度入会
(株)広研	東洋紙業(株)	4月度入会
(株)マスパック	シーレックス(株)	4月度入会
D I A M J A P A N(株)	(株)丸ノ内工芸、ワヨー(株)	4月度入会
町田印刷(株)	(株)電通テック	4月度入会
トッパン・フォームズ(株)	シーレックス(株)	4月度入会
(株)ジール アソシエイツ	電通ヤング・アンド・ルビーカム(株)、(株)サー・ディ・ケイ	6月度入会
(株)大広ONES	(株)大広	9月度入会
(有)ライトスタッフ	(株)ティ・ディ・エス／凸版印刷(株)	9月度入会
(株)ユミ・コーポレーション	(株)I&S BBDO	9月度入会
クオリア・ジャパン(株)	東洋紙業(株)	9月度入会
(株)マルエムPOP	ワヨー(株)、(株)新和製作所	9月度入会
(株)アイズ	(株)電通テック	9月度入会
(株)そごう・西武	(株)電通、凸版印刷(株)	9月度入会
上海凸版廣告有限公司	凸版印刷(株)、(株)凡美社	9月度入会
(株)グローウィン	(株)電通テック	9月度入会
(株)Twin Planet	(株)電通テック	9月度入会
(株)コレット	凸版印刷(株)	12月度入会
三巧印刷(株)	(株)博報堂プロダクツ	12月度入会
東京リスマチック(株)	(株)電通ヤング・マント・グラフィック (株)電通	12月度入会
フュージョン(株)	(株)ヒロモリ	12月度入会
Smart & Co.Japon(株)	(株)東北新社	2月申込書受取
タイヘイ(株)	(株)博報堂プロダクツ	2月申込書受取
(株)パルディア	(株)フロンティアインターナショナル	3月申込書受取

② 事務局主体による入会促進活動 報告 <5月28日～11月30日>

JPM協会の講座受講者・試験受験者等が在籍している企業、および業界データから選定した企業、合計196社に定期的に「入会検討お伺い」他を送付し、「入会意向」等をリターン形式で聞く。

○送付日:5月28日／7月23日／9月18日／11月6日

○送付物:「入会検討伺い文書」「協会案内パンフレット」「会員メリットシート」「JPM協会活動紹介」

(＊教育事業／PM試験／協会展を順次紹介)、「Network」「現会員社リスト」「役員リスト」

○リターン形式にて、「入会意向の有無」「協会について説明希望」「催事・講座等への無料見学希望」等を聞く。

結果:「入会意向なし」と返答した企業6社。「説明希望」3社に、訪問・メール・電話にて行ったが、入会に至った企業なし。

2) JPMゴルフ大会(通算70回)の開催

開催日 平成24年5月31日(木)

場所 武蔵カントリークラブ・豊岡コース

参加者 11社から計13名が参加。

3) J PMマネジメント定例会

会員各社と理事会(理事・監事)との交流、および会員各社間同士の情報交換と交流。会員社であることのメリットのひとつである他社会員社との情報交換による協力関係づくりを目的に開催。定例会(4回開催)、及び既述の新年会を含め延べ参加者341人(目標:360人)。定例会の開催状況は、以下の通り。

第6回開催	6月22日(金)	参加者 62名／25社
講師	舛森丈人 氏	マー・オー・ダブリュー取締役
テーマ		「医薬分野の環境変化とプロモーションビジネスのチャンス」
場所	日本印刷会館 2F会議室	
第7回開催	7月20日(金)	参加者 42名／23社
講師	小林伸行 氏	I&S BBDO シニアストラテジスト
テーマ		「外資系代理店から見たプロモーション」
場所	日本印刷会館 2F会議室	
第8回開催	9月21日(金)	参加者 60名/26社
講師	石川 勉 氏	JR東日本企画執行役員企画制作本部プローション局局長
テーマ		「交通媒体とSPの”売りときめく”関係」
場所	日本印刷会館 2F会議室	
第9回開催	11月22日(木)	参加者 58名/33社
講師	吉村 寛子 氏	ヒロモリ 常務取締役 シニアクリエイティブディレクター
テーマ		「近頃の買い場を考える」
場所	日本印刷会館 2F会議室	

4) JPM新年会

詳細は総務委員会の活動報告に記載。

調査研究委員会 (委員長 武野 一俊／齊藤常任理事・安藤副理事長)

1) 第35回「プロモーション業界実態調査報告書」の発行

① 第35回「日本プロモーション業界実態調査」

プロモーショナル・マーケティング活動(POP広告含む)に関わる平成22年度のプロモーショナル・マーケティング業界の売上高を推定し、同時に受注業種別、商品業種別の活動状況傾向を探る調査結果を報告。7月全会員社に配布。

・調査目的 日本のプロモーション業界、およびPOP広告業界の平成22年度の売り上げ規模を推定し、同時にプロモーション業界における業務の実態を探る。

・調査方法 郵送およびインターネットによる回答

・調査対象 当協会正会員A社

・実施時期 平成24年4月20日～5月31日

・調査票配布173社 調査票回収数 91社 (回収率52.6%)

平成23年度のPOP広告市場規模 2,257億円(前年比97.0%)

② 第15回「プロモーション活動の計画と管理に関する広告主実態調査」

- ・調査目的 広告主側からみるプロモーション活動の計画と管理に関する実態および期待を探る。
- ・調査方法 郵送およびインターネットによる回答
- ・調査対象 当協会正会員B社、日本アドバタイザーズ協会会員社、JPM協会展来場者
- ・実施時期 平成24年4月20日～5月31日
- ・調査票配布 846社
- ・調査票回収数 49社 (回収率5.8%)

教育委員会 (委員長 堀井 誠一郎／草賀常任理事・安藤副理事長)

当委員会は、プロモーション業界の「共通語」としてのプロモショナル・マーケティングを啓蒙・普及すると同時に、協会運営上の収益源確保の役割を担っている。そのため、受講促進活動を積極的且つ体系的に展開し、以下の成果を得た。

	参加者数 (招待数)	目標数
第33期「買い場」展開がよくわかる基礎講座	59 (3)	65
第9期プロモショナル・マーケティング入門講座	51 (1)	45
第24期インストア・マーケティング・スペシャリスト養成講座	30	22
第12期プロモショナル・クリエイティブディレクター(PCD)養成講座	32	30

個々の講座に付いての詳細内容は、以下の通り。

1) 第33期「買い場」展開がよくわかる基礎講座の開講(認定職業訓練JPMビジネススクール)

「買い場」展開ツールの企画から素材別特徴、製作工程まで、すべての職種で必要な基礎知識を網羅的に学べる入門講座。 平成24年5月8日(火)開講。全5日間。

カリキュラム

日 程	講 義 内 容	講 師
開講式		
5月8日	プロモショナル・マーケティング体系の中での「買い場」展開	坂井田 稲之 専務理事
(火)	「買い場」展開の効果測定	坂井田 稲之 専務理事
	「買い場」展開の業態別展開	吉村 寛子 株ヒロモリ
「買い場」展開ツールの基礎知識／プロダクトマネジメント		
5月15日	「買い場」展開ツールの基礎知識／販売什器(印刷・紙・インキ・デジタル入稿)	堀越 守 株電通デック
(火)	「買い場」展開ツールの基礎知識／POP入稿のポイント	伊東 賢一 凸版印刷株
	「買い場」展開ツールの基礎知識／販売什器(ダンボール加工)	長嶋 昇 株DNPエスピーテック
「買い場」展開の考え方		
5月22日	「買い場」展開ツールの基礎知識／インフレータブル	南部 幸司 レンゴー株
(火)	「買い場」展開ツールの基礎知識／ウレタン成形加工	松本 健児 株スピン
		西澤 典昭 株凡美社
		亀井 則宏 ヘルメス株

	「買い場」展開ツールの基礎知識／プラスチック成形加工	大木 正久 ギンポー化成㈱
	「買い場」展開ツール・ケーススタディ	木全 時彦 (株)デザイン・ポート
	「買い場」展開ツールの基礎知識／プラスチック板加工	鱸 成典 (株)丸ノ内工芸
5月29日	「買い場」展開ツールの基礎知識／グラフィック再現粘着シート	白木 保一郎 DICフィルテック㈱
(火)	「買い場」展開ツールの基礎知識／布	田原 繢 (株)田原屋
	「買い場」展開ツールの基礎知識／メカニカル	伊藤 恒夫 国際ディスプレイ工業㈱
	「買い場」展開ツールの基礎知識／携帯電話	村井 潤 小野悠太郎 (株)電通テック
6月5日	「買い場」展開ツールの企画	向坂 文宏 (株)電通テック
(火)	「買い場」展開ツールの基礎知識／デジタルサイネージ	落合 功 凸版印刷㈱

理解度テスト

修了式

受講生	31社	59名(男性42名、女性17名)
修了生		56名(第1期からの累計修了者1,903名)
会 場		日本印刷会館 2F会議室

- 2) 第9期プロモーション・マーケティング入門講座の開講(認定職業訓練JPMビジネススクール)
 プロモーション・マーケティングの理論・実践・営業ノウハウを学ぶ講座。情報収集技法から戦略設計や戦術計画の立案、プレゼンテーションまでを短時間で具体的かつ体系的に学ぶ。平成24年7月3日(火)開講。全3日間。

カリキュラム

日 程	テー マ	内 容
7月3日 (火)	プロモーション・マーケティングの企画手法と立案ツールを学ぶ	1. プロモーション・マーケティング活動とは…? 2. プロモーションの手法と効き目の癖① 3. プロモーションの手法と効き目の癖② 4. プロモーション・マーケティング計画の流れ 5. プロモーション・マーケティングで用いる立案ツール 6. 「プロモーション計画」を評価しよう①グループ演習 7. 「プロモーション計画」を評価しよう②グループ演習
7月10日 (火)	ケースメソッドで実戦的に企画技法を学ぶ	8. 市場情報の集め方と整理の仕方 9. 市場情報の分析技法① 10. 市場情報の分析技法② 11. プロモーション・マーケティングの戦略設計を行う① グループ演習 12. プロモーション・マーケティングの戦略設計を行う②グループ演習 13. プロモーション・マーケティングの実行計画を行う①グループ演習

		14. プロモーション・マーケティングの実行計画を行う②グループ演習
	各自の力をさらに伸ばすために 7月17日 (火)	15. プレゼンテーションと講評 16. プロモーション効果とは?効果の測定法は?① 17. プロモーション効果とは?効果の測定法は?② 18. SP会社への期待 19. プロモーション営業とは① 20. プロモーション営業とは②
講 師	坂井田 稲之 (一社)日本プロモーション・マーケティング協会 専務理事 宮地 雅典 カゴメ㈱ 中国支店 支店長 塩川 智紀 (株)電通テック 第1プロモーション・プロデュース事業部 部長 江花 昭彦 (株)博報堂プロダクツ 常務取締役	
受講生	19社 51名(男性29名、女性22名)	
修了生	49名(第1期からの累計修了者409名)	
会 場	日本印刷会館 2F会議室	

- 3) 第24期インストア・マーケティング・スペシャリスト養成講座の開講(認定職業訓練JPMビジネススクール)
 Web・携帯とのクロスメディア展開を取りこんだ店頭プロモーション企画のスペシャリスト育成コース。
 合計5日間の集中講義+演習、そして自己学習を含む4ヶ月間のコース。平成24年10月11日(木)開講。

カリキュラム

日 程	講 義 内 容	講 師
10月11日 (木) 第一課程 (集合研修)	第 1講 ISMとは?	
	第 2講 ISM計画手順と店内展開方法	
	第 3講 特設陳列展開の基礎知識	
	第 4講 店内プロモーション手法の基礎知識	坂井田 稲之 専務理事
	第 5講 店内プロモーション展開でのネット系ツール活用	
	第 6講 「売り場」の考え方を知る	
	第 7講 「売り場」作りの基礎知識	
	第 8講 ・売り場分析と課題設定 ・展開テーマの設定の演習(個人作業)	
	第 9講 演習事例の検討の進め方 ・企画書の作成法	
10月12日 (金) 第一課程 (集合研修)	第10講 米国のISM事例①②	田中 敏明 (株)エムディ・ソリューションズ 顧問
	第11講 事例から考えるISM①②	松本 健児 (株)スピノ 専務取締役
	第12講 インターネットと店内プロモーション①	伊藤 浩一 (株)DNPメディアクリエイティブ 第1クロスマディア企画本部本部長
	インターネットと店内プロモーション②	村井 潤 (株)電通テック PP本部ソリューションプランニング&プランニング室
第二課程	インターネットと店内プロモーション③	村田 一朗 凸版印刷株式会社 アイデアセンター 部長
	●市場環境分析WS、基本方針設定 ●戦略企画	

(ホームワーク)	●ブランドの価値づけ ●テーマ展開から、店内展開まで ●ネット展開施策開発 ●売り場づくり提案シナリオ開発	個人作業
平成25年 1月17日 (木) 第三課程 (集合研修)	第13講 市場環境分析、戦略企画、売り場作り提案シナリオ (参考事例紹介) 第14講 テーマ開発(個人作業→グループで絞り込み) 第15講 テーマに基づき具体計画策定(個人作業) 第16講 グループ案策定① 第17講 グループ案策定② 第18講 プレゼンテーションと講評 第19講 修正方向の検討 第20講 グループ作業①②③	坂井田 稲之 専務理事
1月18日 (金)	第21講 プレゼンテーション 第22講 理解度テスト 第23講 プレゼンテーション講評	坂井田 稲之 専務理事 吉村 寛子 (株)ヒロモリ 常務取締役
第三課程 (集合研修)	第24講 企画修正作業① 第25講 企画修正作業② 第26講 企画修正作業③	
1月27日 (金)	第27講 卒業プレゼンテーション①② 講演 顧客接点の変化とISMの課題	上原 征彦 明治大学 教授 日本プロ モーショナル・マーケティング学会 会長
第四課程 (集合研修)	(修了式)	
受講生	13社 30名(男性22名、女性8名)	
修了生	25名(第1期からの累計修了者487名)	
会場	日本印刷会館2F会議室	

4) 第12期プロモーション・クリエイティブディレクター(PCD)養成講座

プロモーション領域におけるクリエイティブディレクター育成講座。ケース演習で実践的かつ体系的に使え、また、社内で共有できる「ワークシート法」による新しい「プロモーション表現」のディレクション技法を学ぶ。

平成25年2月12日(火)開講。全4日間。

カリキュラム

課程	テーマ	内容
2月12日 (火)	プロモーション・クリエイティブの基礎知識	「クリエイティブ・コンセプト」とは 「PCDに必要なアイディア生産の技術」 「プロモーション・マーケティング」と「プロモーション・クリエイティブ」 「プロモーション計画」の進め方 「表現テーマ」の開発技法 「表現テーマ開発」実技演習
2月19日 (火)	プロモーション・クリエイティブの戦略とケース・スタディ	「表現テーマ」の講評 グループ演習①(表現テーマの設定とキーワードの開発) グループ演習②(キービジュアル案の開発) グループ演習③(店内プロモーション施策の開発)

		グループ演習④(POPツールの選定と内容設定) グループ演習⑤(「プロモーション・クリエイティブ提案書」の作成) 中間プレゼンテーション①
	プロモーション・クリエイティブの ケース・スタディ	グループ演習⑥(表現テーマの修正・仕上げ) グループ演習⑦(キーワードの修正・仕上げ) グループ演習⑧(キービジュアル案の修正・仕上げ)
2月26日 (火)		グループ演習⑨(店内プロモーション施策の修正・仕上げ) グループ演習⑩(「プロモーション・クリエイティブ提案書」の修正・仕上げ) 中間プレゼンテーション② 講評に基づく修正
	プロモーション・クリエイティブの プレゼンテーション	プレゼンテーションの最終調整
3月5日 (火)		「プロモーション・クリエイティブの効果測定」 プロモーション・クリエイティブの「客観評価」の 手法 プレゼンテーション プレゼンテーション講評
講師	鎌田 一成 木全 時彦 坂井田 稲之 黒須 治 吉村 寛子	(株)電通テック 専任マネージャー (株)デザイニング・ボード 代表取締役 (一社)日本プロモショナル・マーケティング協会 専務理事 クリエイティブディレクター (株)ヒロモリ 常務取締役 シニアクリエイティブディレクター
受講生	16社	32名
前年修了生	35名(第1期から第11期の累計修了者238名)	
会場	日本印刷会館 2F会議室	

- 5) JAGAT(社団法人 日本印刷技術協会)主催の通信教育、「プロモショナル・マーケティング基本知識講座」へ協会として協力。

セミナー委員会 (委員長 丹羽 由紀夫／吉村常任理事・安藤副理事長)

JPMセミナー2012の開催

「プレゼン力で勝つか、営業力で勝つか！

～SP会社、印刷会社、広告会社の営業力とプレゼン力～ をテーマに、SP会社、印刷会社、広告会社という3つの業種から、「営業力とプレゼン力」についてのセミナーを開催。

日時	平成24年10月16日(火)
会場	日本印刷会館2F会議室
会費	会員1名 8,400円 一般1名12,600円
受講者	申込者数 51名、事前キャンセル1名、欠席2名、出席者数 48名。(参加目標: 50名)
テーマ①	「買い場での強みを生かした提案営業で勝つ。」 ～SP会社の営業力とプレゼン力～

針谷 良太 氏 株式会社 スピン SD事業本部営業部長
 テーマ② 「モノ作りを生かした企画・実施力で勝つ。」
 ~印刷会社の営業力とプレゼン力~
 村田一朗 氏 凸版印刷株式会社 情報コミュニケーション事業本部 トップソリューションセンター
 マーケティング 本部 マーケティング企画部部長
 テーマ③ 『広告会社の営業の仕事』
 ~広告会社の営業力とプレゼン力~
 増田 和則 氏 株式会社博報堂 執行役員 プロモーションビジネスユニット長

JPMショーアー委員会 (委員長 久保田 秀明／窪田常任理事・新井副理事長)

「売りの完結」というプロモーション業界の役割に、より積極的に寄与する協会展であること、また、長年の課題である収支状況の改善を図るべく活動した。結果、協会展の出品数は久方に伸長し802点(前年742点、目標750点)を得た、しかし来場者数は5,076名(前年5,202人)、見本市参加小間数15社から21小間(前年22小間、目標30小間)に終わった。

第42回「日本プロモーション・マーケティング協会展」の開催

クリエイティブデザインショー(作品展)、見本市、第14回「買い物場展開ツール」デザインコンペティション、JPMプランニング賞、プロモーション・マーケティング・セミナーの5構成で実施。

開催日	平成24年9月26日(水)～28日(金)
会場	東京都立産業貿易センター(浜松町館)
入場料	一般3,000円 会員には1社につき次の通り会員券を配布した。 正会員A:30枚、正会員B・C及び海外会員:15枚、賛助会員:10枚 クリエイティブデザインショー出品会社:1作品につき10枚 見本市出展会社:1小間50枚
入場者数	5,076名
後援	経済産業省
協賛	公益社団法人日本アドバタイザーズ協会 社団法人日本印刷産業連合会 一般社団法人日本広告業協会 公益社団法人日本サインデザイン協会 一般社団法人日本ディスプレイ業団体連合会 一般社団法人日本空間デザイン協会 公益社団法人日本パッケージデザイン協会 公益社団法人日本マーケティング協会 日本チェーンストア協会 NPO法人 エムシーイーアイ 日本プロモーション・マーケティング学会

1) クリエイティブデザインショー(作品展)

入賞、入選作品全802点を展示

入選	701点
入賞	101点
経済産業大臣賞	1点
審査員特別賞	1点
金賞	18点
銀賞	81点

2) 見本市

15社から21小間が出展

会員	12社	18小間
一般	3社	3小間
合計	15社	21小間

3) プロモーション・マーケティング・セミナー

4講座6テーマで2日間にわたり開催。2日間で101名が受講。(目標:140名)

9月26日(水)

第1講座	テーマ①	J PMプランニング賞受賞作品のレビュー ■ベスト・プロモーション・プログラム賞 「東北六魂祭～震災後初の大型イベント企画・運営～」 講 師 株式会社電通 ■ベスト・プロモーション・クリエイティブ賞 「カルビーホワイトラベルプロジェクト」 講 師 株式会社スコープ
第2講座	テーマ②	■広告主の講演 「メーカーと流通のWIN-WINの商談のメカニズム」 講 師 藤澤 博弥 氏 株式会社ヤクルト本社 直販営業部 チェーンストア課 課長

9月27日(木)

第3講座	テーマ③	JPMプランニング賞受賞作品のレビュー ■プロモーション・マーケティング大賞 「震災支援活動『アリエール あなたにエールを。プロジェクト』」 講 師 株式会社TBWA\HAKUHODO ■インナー・プロモーション企画部門・金賞 「ダイハツ エコマイスター」 講 師 株式会社電通テック
第4講座	テーマ④	■平成23年度研究助成論文の実業界の研究の発表 日本プロモーション・マーケティング学会／平成23年度研究助成論文 「店頭における購買に結び付く情報の最適化の検証 ～購買・非購買を「脳内会話」から読み解く～」 前田 知佳 氏、梅田 真希子 氏／株電通 プロモーション事業局

4) 第14回「買い場展開ツール」デザインコンペティション

詳細はクリエイティブ委員会の活動報告に記載。

5) ガイドブックの発行

クリエイティブデザインショーの入選作品743点の写真、見本市出展会社の出展内容を掲載したガイドブックを1,600部発行し、入場者に販売した。

A4判カラー／76ページ 頒価 2,000円
広告出稿 22社

6) 2012・42st JPM 贈賞式

2012・42thクリエイティブデザインショー、第13回「買い場展開ツール」デザインコンペティション、第10回JPMプランニング賞、の3部門の贈賞を行う。

経済産業省から商務情報政策局 文化情報関連産業課課長補佐 高橋 聰氏が出席し、経済大臣賞が授与された。

日時 平成24年11月29日(金)
会場 東京会館 9Fローズルーム
出席者 300名 (広告主57名、会員163名、その他80名)

出版委員会 (委員長 並川 恒巳／吉村常任理事・安藤副理事長)

1) 「JPM PROMOTIONAL SOLUTION EXHIBIT 2013」(作品年鑑)の発行

平成24年に開催された2012・42th JPM Creative Design Showの入賞、入選作品802点の全作品、およびJPMプランニング賞入賞作品16点、買い場展開ツールデザイン コンペティション入賞作品12点を掲載し2月に発行。

A4判、並製アジロ綴りカバーつき 本文 276ページで850冊発行

定価 18,900円(税込)

会員へ無償配布するとともに一般販売を行った。

広報・編集委員会 (委員長 小林 伸行／吉村常任理事・安藤副理事長)

1) 平成24年度 広報活動

以下の広報リリースを、プレス24社にメールにて送信

5月30日：「5月21日開催の定時総会・記念講演」広報

6月29日：「JPM プランニング賞入賞企画決定」広報

8月2日：「平成24年度助成論文決定」広報

9月12日：「JPM協会展 開催告知」広報 プロモーションの最前線がわかる

9月26日／10月2日：「JPM協会展 開催中」広報 「JPM協会展 開催 決定」広報

11月29日(贈賞式にて)：「2012 MAAW6部門入賞」 JPMプランニング賞入賞企画、
GLOBES Awards で6つの部門金賞・銀賞・銅賞を獲得！

<課題・対策>

① 送信先メディアの拡大 ② 送信タイミングの的確化 ③ 送信すべきニュース素材の把握

2) 「JPM Network」の発行。

平成24年度の編集基幹テーマは、「営業力とプレゼン力」と設定。同テーマについて5月号、8月号、12月号にて掲載。表紙は、コピー:多田亮三氏、AD:高橋稔氏。

平成 24 年 4 月	第 11 期 PCD 養成講座 報告 第 10 回「プロモーション・マネジメント研究会」第5回ダイジェスト 第4回「JPM マネジメント定例会」抄録(スピーチ:大日本印刷・清水孝夫氏) 新入会企業紹介(2月度入会)
5 月	「営業力・プレゼン力」を強固にする視点と方法 助成論文発表会、日本 PM 学会総会 開催 第5回「JPM マネジメント定例会」抄録(スピーチ:博報堂プロダクツ・多田亮三氏) 新入会企業紹介(4月度入会)
6 月	第 43 回定時総会 速報 「JPM GLOBALSHOP 2012 観察ツアー」報告 「プロモーション・マーケター認証資格試験」受験 受け付け開始 新会員入会促進活動
7 月	第 43 回定時総会 (運営基本方針) 特別講演(戸田裕一 博報堂代表取締役社長) 第 10 回 JPM プランニング賞決定 「JPM クリエイティブデザインショー」出展案内広告
8 月	「営業活動とプレゼン」において最も重要なことは何か 第8回プロモーション・マーケター認証資格試験実施について(告知) 第6回「JPM マネジメント定例会」抄録(スピーチ:テー・オー・ダブリュー舛森丈人氏)
9 月	広告、SP、POP 広告の「売上と実施状況」—平成 23 年度 平成 23 年度 JPM 協会活動総括 第7回「JPM マネジメント定例会」抄録(スピーチ:I&S BBDO 小林伸行氏) 店頭販促の新たな武器—POP サイネージ(序)
10 月	プロモーション業界、広告主双方の「期待度・満足度」比較 店頭販促の新たな武器—POP サイネージ 新入会企業紹介(6月度、9月度)
11 月	第 42 回 日本プロモーション・マーケティング協会展 開催! 第7回「JPM マネジメント定例会」抄録(スピーチ:ジェイアール東日本企画・石川勉氏) 新入会企業紹介(9月度)
12 月	プレゼン力で勝つか、営業力で勝つか! JPM セミナーより抄録 プロモーション業界の「営業力」を考える—まとめ 第8期PM資格認証試験、実施される JPM プランニング賞入賞企画、グローブス賞で6つの部門金賞・銀賞・銅賞獲得! 新入会企業紹介(9月度)
平成 25 年 1 月	年頭のご挨拶(堀 宏明理事長) / 理事の方々からの「新年の抱負」 会員社からの名刺広告 新入会企業紹介(12月度) JPM 贈賞式 第9回「JPM マネジメント定例会」抄録(スピーチ:ヒロモリ・吉村寛子氏) JPM 新年会開催のご案内

プロダクツ委員会 (委員長 小田島 隆太／草賀常任理事・安藤副理事長)

- 1) 第33期「買い場」展開がよくわかる基礎講座(認定職業訓練JPMビジネススクール)への協力

クリエイティブ委員会 （委員長 木全 時彦／ 草賀常任理事・安藤副理事長）

1) クリエイティブ会員体験学習会の開催

日 時 平成24年6月29日(金)

テーマ 勝沼ガラス工房 がらす屋 宙吹きガラス体験～バスで行くガラス吹き体験学習会～
(山梨県甲州市勝沼町)

参加者 7社から12名が参加

2) 第14回「買い場展開ツール」デザインコンペティションの開催

応募受付期間 平成24年7月24日(水)～8月24日(金)

応募数 学生の部は6校から79点、一般の部は3社及び個人から8点の計87点

審査会 平成24年9月25日(火)

展示会 平成24年9月26日(水)～28(金) 東京都立産業貿易センター(浜松町館)

贈賞式 平成24年11月29日(木) 東京會館

金賞2点(学生1、一般1)、銀賞2点(学生1、一般1)、銅賞2点(学生1、一般1)、佳作5点(学生4、一般1)、審査員特別賞(一般1)

3) 平成24年クリエイティブ・セミナーの開催

テーマ 「金賞7回受賞のPOPプロフェッショナルが、紐解く アイデアをいかに具現化していくか」

講師 林 直人 氏

(株)レッグス クリエイティブディレクター

日時 平成24年1月28日(月)

会場 日本印刷会館 2F会議室

参加者 29社から86名

4) 平成25年クリエイティブ会員勉強会と新年懇親会

日時 平成25年1月28日(月)

場所 日本印刷会館 2F会議室

テーマ 一部 2012・42th JPM Creative Design Show 入賞作品の解説

①経済産業大臣賞作品「タイヤホイール&フレーム箱兼POP」
／大王製紙デザインパッケージ(株)

②家庭用品・一般電器部門・金賞作品「炊飯器豪華エンド展示キット」／(株)美工

二部 特別講演「反刹那主義」

講 師 平野 敬子 氏

コミュニケーションデザイン研究所所長

三部 懇親会、名刺交換会

参加者 42名

プロモーション・ビジネス研究委員会 （委員長 北川 盟／窪田常任理事・新井副理事長）

1) 第10回JPMプランニング賞の実施

応募受付期間 平成24年3月1日(木)～31日(金)

応募基準 平成23年1月1日～平成23年12月31日の間に実施されたプロモーション企画

応募総数 16社 51点

●プロモーション・マーケティング大賞

震災支援活動「アリエール あなたにエールを。プロジェクト」

プロクター・アンド・ギャンブル・ジャパン株式会社／株式会社TBWA\HAKUHODO

●ベスト・プロモーション・プログラム賞

東北六魂祭 ～震災後初の大型イベント企画・運営～

東北六魂祭実行委員会／株式会社電通

●ベスト・プロモーション・クリエイティブ賞

カルビーホワイトラベルプロジェクト／カルビー株式会社／株式会社スコープ

各部門賞で金6点、銀7点を選出(次ページ受賞作品一覧参照)

2) SP領域の世界的なコンテスト、GLOBES Awardsへの選出と受賞

第10回JPMプランニング賞受賞企画の中からGLOBES Awardsへ11点が応募。

以下の3作品が6部門で入賞。

<新製品発売または再発売部門・金賞>

東北六魂祭 ～震災後初の大型イベント企画・運営～

広告主:東北六魂祭実行委員会／出品会社:株式会社電通

<トライアルおよび知名度部門・銀賞、ショッパー・マーケティング部門・銅賞、コード・マーケティング部門・銅賞>

震災支援活動「アリエール あなたにエールを。プロジェクト」

広告主:プロクター・アンド・ギャンブル・ジャパン株式会社／出品会社:株式会社TBWA\HAKUHODO

<リレーションシップマーケティング部門・銀賞、コード・マーケティング部門・銀賞>

スマートストック啓発プロジェクト～有事のPR&PROMOTION～

広告主:キリンMCダンウォーターズ株式会社／出品会社:株式会社電通

3) MCEIが主催する国際企画コンテストへの選出と受賞

MCEIが主催する国際企画コンテスト「International Marketing Excellence Award 2012」へ2点が応募。第9回のJPMプランニング賞入賞の作品が、最高の金賞を獲得。

桃屋『食べるラー油』キャンペーン 広告主:株式会社桃屋／出品会社:株式会社読売広告社

第10回 JPM プランニング賞 受賞作品一覧

受賞名		プロモーション名	広告主名	出品会社名／共同出品会社名
J P M 賞	プロモーション大賞	震災支援活動「アリエール あなたにエールを。プロジェクト」	プロクター・アンド・ギャンブル・ジャパン株式会社	株式会社TBWA\HAKUHODO
	ベスト・プロモーション賞	東北六魂祭 ~震災後初の大型イベント企画・運営~	東北六魂祭実行委員会	株式会社電通
	ベスト・プロモーション・クリエイティブ賞	カルビーホワイトラベルプロジェクト	カルビー株式会社	株式会社スコープ
部門賞	統合型プロモーション企画	金賞 みんなでたこ焼き大パーティー	キリンビール株式会社	株式会社電通
		銀賞 "Fashion Trends" by You ~LUMINE有楽町オープニングプロモーション~	株式会社ルミネ	株式会社電通テック
	プランディング・キャンペーン企画	金賞 午後の紅茶『紅茶で笑顔を。』キャンペーン	キリンビバレッジ株式会社	株式会社電通
		銀賞 寺カフェ@Marunouchi	生田山 信行寺	株式会社ジェイアール東日本企画
	新規顧客獲得企画	金賞 該当作品なし		
		銀賞 『ハナシコム枕プレゼント』	株式会社ウィルコム	株式会社博報堂 株式会社博報堂プロダクツ
	既存顧客維持企画	金賞 電子マネーひよこちゃんストラップが当たる!『赤黒つけよう!キャンペーン』	日清食品株式会社	大日本印刷株式会社
		銀賞 au × adidas EKIDEN GRAND PRIX	KDDI株式会社 アディダスジャパン株式会社	株式会社博報堂 株式会社アサツー ディ・ケイ
	事業所向け企画	金賞 該当作品なし		
		銀賞 該当作品なし		
	インストア・プロモーション企画	金賞 スマートストック啓発プロジェクト～有事のPR&PRO MOTION～	キリンMCダノンウォーターズ株式会社	株式会社電通
		銀賞 ソーシャル消費を考えたコンテンツ活用による店頭キャンペーン	株式会社ファミリーマート	株式会社電通
	インナープロモーション企画	金賞 ダイハツ エコマイスター	ダイハツ工業株式会社	株式会社電通テック
		銀賞 該当作品なし		
	デジタル・プロモーション企画	金賞 該当作品なし		
		銀賞 WONDA × AKB48 ワンダフルルーレット キャンペーン	アサヒ飲料株式会社	株式会社電通テック
	社会貢献プロモーション企画	金賞 ハナサケニッポン	なし(ハナサケ・ニッポンの会)	株式会社博報堂
		銀賞 大阪府 児童虐待防止「泣いているキティ」キャンペーン	大阪府	株式会社大広

4) 第11回 プロモーション・マネジメント研究会の開催

各講座を、原則、プレゼンを受ける側からの講演と、プレゼンを行なう側からの講演という2部で構成した。

「営業力とプレゼン力」講座 プロモート活動

- ・申込締切（第1弾：9月20日、第2弾：10月17日）
- ・第1弾で、申込意向を聞く。理事にメールにて開講意義を送る。
- ・申込促進プロモーションを、10月上旬、理事、前回出席社に行う。
- ・申込：17社30名（目標30人）

日程	テーマ	講師
<1> 11月8日(木)	プレゼン前後の営業活動	大東印刷工芸 代表取締役 花崎 博己 氏
		パナソニック コミュニケーションズグループ マネジャー 津山 克則 氏
<2>	プレゼンの説得方法	大広 東京第1コミュニケーションズ イン局クロスコミュニケーションズグループ 部長 高橋 太郎 氏

12月5日(水)		日本製紙クレシア 直需営業本部長代理 兼 直需営業推進2部長 高津 尚子 氏
<3> 1月10日(木)	問題・課題の[本質]を捉える	スピノ 取締役ISM事業本部 企画部長 丸島 早紀子氏
		ヤクルト本社 化粧品部 部長 市川 英次 氏
<4> 2月7日(木)	作り手、売り手、買い手を動かす表現プレゼン	博報堂プロダクツ 代表取締役社長 安藤 輝彦 氏
		安藤 輝彦 氏×同社担当者
<5> 3月8日(金)	ツール、メディアに、「物語」を落とし込む	博報堂プロダクツ 代表取締役社長 安藤 輝彦 氏
		安藤 輝彦 氏×同社担当者

サイン委員会 (委員長 落合 功／草賀常任理事・安藤副理事長)

- 1) 「POPサイネージ活用への検討課題」をテーマにサイン委員会を開催。
委員に事前アンケートを行い、7月27日(金)に委員会を開催。
9月・10月にJPMNetwork掲載する記事の概要を確認した。
- 2) JPMNetwork9月号に、「店頭販促の新たな武器 POPサイネージ(序)」を掲載。
- 3) JPMNetwork10月号に、「店頭販促の新たな武器 POPサイネージ」を掲載。今後の取組み課題として、以下を掲げた。
 - ① 表現計画プログラムの開発
 - ② 端末の設置・管理プログラムの開発
 - ③ 制作費回収プログラムの開発
 - ④ 効果把握プログラムの開発

プロモーション・マーケター認証資格委員会 (委員長 富田 義弘／齊藤常任理事・安藤副理事長)

当第7期までの累積延べ受験数が6,401人となり、有資格者数は3,864人に至った。また、非協会会員社の受験派遣比率が65%となり、一段と業界全体の資格へと裾野が広がっている。

- 1) 第8期プロモーション・マーケター認証資格試験を実施。

受験者数は895名でうち合格者は541名。合格者累計は3864名。

試験日 平成24年11月3日(土)祝日

試験会場 東京／東洋学園大学 北郷キャンパス、大阪／関西大学 天六キャンパス、
名古屋／学校法人名古屋大原学園

受験者プロフィール	<u>業種別会社割合(164社)</u>		<u>年齢別割合(895名)</u>	
	広告主	16%	20代	45%
	広告会社系	18%	30代	36%
	広告制作会社系	9%	40代	17%
	SP・マーケティング系	24%	50代以上	2%
	印刷会社系	27%		
	ディスプレイ会社	2%		
	その他	4%		

試験に先立ち直前受験対策講座を開講した。延べ5日。受講者数454名。

講座日 9月15日(土)、9月23日(日)、9月29日(土)、10月13日(土)、10月21日(日)

会場 日本印刷会館2F会議室

- 2) 認証資格更新

本年は、第3回目の更新受付を行った。

更新率(平成24年・3回目) 63.4% 329／519名

更新率向上が課題。

そのため①資格保有者、②企業担当者に向けた施策を実施する。

また、更新者全員をPMFメンバーとすることを検討し、決定した。

3) PMF(Promotional Marketers Forum)メールマガジンの発行(発信)

対象:プロモーショナル・マーケター・フォーラム(PMF)会員

平成23年7月より隔月15日に配信。

読者 PMF会員約1,601人。年齢は20代後半～30代が中心。

媒体の位置づけ 「PMのプロ」を目指している人たちへのアドバイス、業界情報提供による会員間を結ぶコミュニケーションマガジン。

4) プロモーショナル・マーケターズ・フォーラム・セミナーの開催

日時 平成24年8月22日(水)

会場 日本印刷会館 2F会議室

受講者 出席者数60名、申込者数 70名(目標:50名)

第一部 講師 末岡 映二 氏 / 株式会社DNPメディアクリエイト クロスマディア事業開発本部
クロスマディアソリューション開発部第1マーケティング開発ルーム

テーマ 「ジャンプ率に着目した、流通チラシのクリエイティブ効果に関する検証」

第二部 講師 中里 栄悠 氏 / 株式会社ジェイアール東日本企画 駅消費研究センター研究員

テーマ 「計画来店／衝動来店と店内での買い物行動についての研究」

第三部 講師 板垣 信行 氏 / 株式会社博報堂プロダクツ 店頭プロモーション事業本部 本部長

テーマ 「メーカー製作POP,什器の売り場設置率を高める方法と設置されたPOPが購買行動に及ぼす影響について」 ~POP/什器製作者向けメソッドとしてまとめる~

日本プロモーショナル・マーケティング学会 (委員長 石川 勉/齊藤常任理事・安藤副理事長)

より実質的に産学の共同推進を実現する為、当期より、より実務視点からの研究を評価する「実務研究」部門を設置し、学術研究と実務研究の2部門で運用とした。なお、協賛社は目標が25社であったが、残念ながら20社の協賛に止まった。

1) 「平成24年度研究論文・研究レポート」助成

応募20点の中から以下、12点に助成決定。

①研究論文(実証研究、事例研究、理論研究)

学術界 6点 実業界 3点

②研究レポート(学士論文相当、実証研究)

大学学部生 3点

2) 第4回学会総会の開催

日時 平成25年3月18日(月)

場所 日本印刷会館 会議室 2F会議室

内容 学会総会

研究発表
産学交流懇親会

3) 実務に役立つテーマ検討プロジェクト

実業界のプロジェクトメンバー7名で5回の会議で検討し、9月に学会の会長・副会長と会議を行い、以下のことを決定した。

①研究助成と査読付き論文の選定は、学術研究と実務研究の2種類に分けて行う。

②査読付き論文の評価と指導は、プロモーション研究推進委員会の学術界と実業界のレフリーが共同で行う。

4) 流通経済研究所、MCEIとの連携

(財)流通経済研究所の「流通ビジョンセミナー『流通大会2013』」[平成25年2月6日(水)～8日(金)、22日金]の後援。

MCEIとは、日本プロモショナル・マーケティング協会を通じて、連携の強化をはかった。

5) 学会員の構成(平成25年3月12日現在)

学会員 A	学術界の研究者	21名
学会員 B	実業界の研究者	5名
学会員 C	プロモショナル・マーケター資格の取得者	135名
学生会員	学生の研究者	17名
	小計	178名
学会員 D	法人の協賛会社 20社×5名	100名
	合計	278名

グッドウイル・プロモーション・アライアンス推進委員会 (委員長 田中 茂／窪田常任理事・新井副理事長)

平成23年の大震災直後に、これからプロモーションのあり方を求め準備委員会が組織され、同年9月（112回）の理事会で設置が承認された。以降、毎月、欠くことなく委員会が開催され、①プロモーションの効果性、②プロモーションの遵法性、③プロモーションの社会性、の3つを基軸とした「プロモーション憲章（案）」、またそれに基づく「プロモーションの考查基準（案）」、「GPA事務局主査制度（案）」、さらに「GPA賞設置（案）」を策定した。

(活動の概要)

1. 4月時点で、改めてGoodwill Promotion Alliance制度を確立すること、および運動推進について確認。
2. 次に、講習会のあり方(カリキュラム)について検討、その中で先に「テキスト」を先行することとした。
3. 社会貢献性、効果性、遵法性の順で、「テキスト」を整えた。
4. その間に、「GPA賞」設置(平成26年度から)に向けて細目を検討。
5. 現在、「テキスト」は、ほぼ完成形にきている。

(当期活動内容)

第14回 平成24年4月24日(火)

1. Goodwill Promotion Alliance 制度確立・運動推進の確認
2. 今後のスケジュールの確認
3. 「GPA賞」の設置についての確認
4. 講習会「教材」イメージ(章立て)の検討
5. 基本構想について

第15回 5月25日(金)

1. 「講習会」のカリキュラムについて
「社会貢献性」「効果性」「遵法性」——各講習会について

第16回 6月25日(月)

1. 改めて Goodwill Promotion Alliance 制度の確立の意義と目的について
2. 「テキスト」の整えに向けての、「点検シート」の「記入例」の作成について

第17回 7月25日(水)

1. 社会貢献活動 点検項目と点検シートに記載の「例え文」の検討
 - ・1～9、各項目ごとに、「例え文」を検討
 - ・掲載「例え文」の決定
2. 効果性 点検項目と点検シートに記載の「例え文」作成のお願い

第18回 8月30日(木)

1. 効果性 点検項目と点検シートに記載の「例え文」の検討
2. 「効果性」について、企画制作現場で「点検」することの必要性について
(3. 次回までに、「遵法性」の「例え文」の検討について)

第19回 10月9日(火)

1. 「遵法性」点検項目と点検シートに記載の「例え文」の検討
2. 「遵法性」点検項目改正について

第20回 11月19日(月)

1. 「遵法性マネジメント」記載項目の確認
2. G P A賞について

第21回 12月14日(金)

1. 「遵法性マネジメント」記載項目の確認
2. G P A賞について

■プロモーション憲章(案)

Goodwill Promotion Allianceは、社会共生視点に立つ、健全なプロモーション活動を追求する活動です。プロモーションの効果性や遵法性はもとより、社会貢献の機会を積極的に探し出し、公共財としてバランスの良いプロモーション実施のための基盤の整備を行います。

具体的には、効果性を高めるための整備、遵法性を高めるための整備、そして社会貢献の機会の 探索と手法の開発を行います。

<効果性を高めるための整備として必要な5原則>

1. 「市場分析」段階での効果性の担保
2. 「市場戦略」段階での効果性の担保
3. 「実行計画」段階での効果性の担保
4. 「実行管理計画」段階での効果性の担保
5. 「活動評価」段階での効果性の担保

<遵法性を高めたための整備として必要な4点検>

1. 景品表示法の遵守
2. 産業財産権(特許法・実用新案法・意匠法・商標法)の遵守
3. 著作権法の遵守
4. 不正競争防止法の遵守

<社会貢献性あるプロモーションを行なうための9原則>

1. 実益性を伴う活動を提供すること
2. 倫理性を担保すること
3. 他利動機であること
4. 受益者の心情を適切に配慮すること
5. 受益者にとっての重要度・緊急性を高めること
6. 社会トラブルへの配慮を成すこと
7. 活動の実施運営面への信頼性を高めること
8. 活動の透明性を高めること
9. 活動の監査機能を担保すること

関西部会 (委員長 江本 良雄／宮瀬常任理事・清水副理事長)

1) 研究会の開催

①買い場における女性の心理・行動研究

第一部 女性脳型消費、効果的な「引き金」の作り方

講師 松本 朋子 氏／株マーケティング・ハピネス 代表取締役

第二部 買い場の潜在ニーズを「見える化」する行動観察

講師 越野 孝史 氏／株エルネット 行動観察推進部長、大阪ガス行動観察研究所主席研究員

日時 平成23年7月5日 (木)

会場 大阪国際交流センター 小ホール

入場者数 23社112名(会員20社107名・非会員3社5名)

②2012・42nd J PM C r e a t i v D e s i g n S h o w 「スライドによる大阪展」

講師 久保田 秀明 氏

日時 平成24年12月5日(水)

会場 大阪国際交流センター 小ホール

入場者数 46社171名 (会員/24社119名、非会員/22社 52名)

③第11回電通・博報堂W講演 平成25年度消費・生活トレンド予測

第一部 テーマ 「生活活動力2013『総子化』」

講師 吉川 昌孝 氏

(株)博報堂生活総合研究所 動態研究グループ 主席研究員

第二部 テーマ 「2013年サキドリ予想『変わる社会・変わる消費者』」

講師 四元 正弘 氏

(株)電通 電通総研 研究主席

日時 平成25年2月14日(木)

会場 大阪国際交流センター 小ホール

入場者数 21社 62名(会員16社 54名、非会員5社 8名)

2) 部会情報紙「関西かわら版」の発行

上記研究会の講演レポートと号外の計5回発行。